

将来の目標人口

全国的に人口減少傾向にある中、本市の人口は増加が続いていますが、国立社会保障・人口問題研究所の推計（2018年推計）によると、2030年の76,221人をピークに、減少へ転じると予測されています。

「鳥栖市人口ビジョン」（2015年9月策定）では、人口動向や将来人口推計の分析結果を踏まえ、2060年に75,000人～77,000人を基礎とする人口目標を展望したうえで、2060年に75,000人を現実的な目標人口としています。

全国的に人口減少・超高齢社会への対応が課題となっており、本市においても将来的には人口が減少することが予想されることから、この目標人口を達成するためには、人口増加が続く今後約10年のなかで、持続可能な都市構造への転換を模索していく必要があります。

このようなことから、本計画では、日常生活圏で暮らすコンパクトな都市づくりを進め、本市の豊かな自然環境と調和した機能的で魅力ある都市空間の形成を目指すとともに、それぞれの地域特性に配慮した職住近接型のゆとりある生活の実現を目指します。

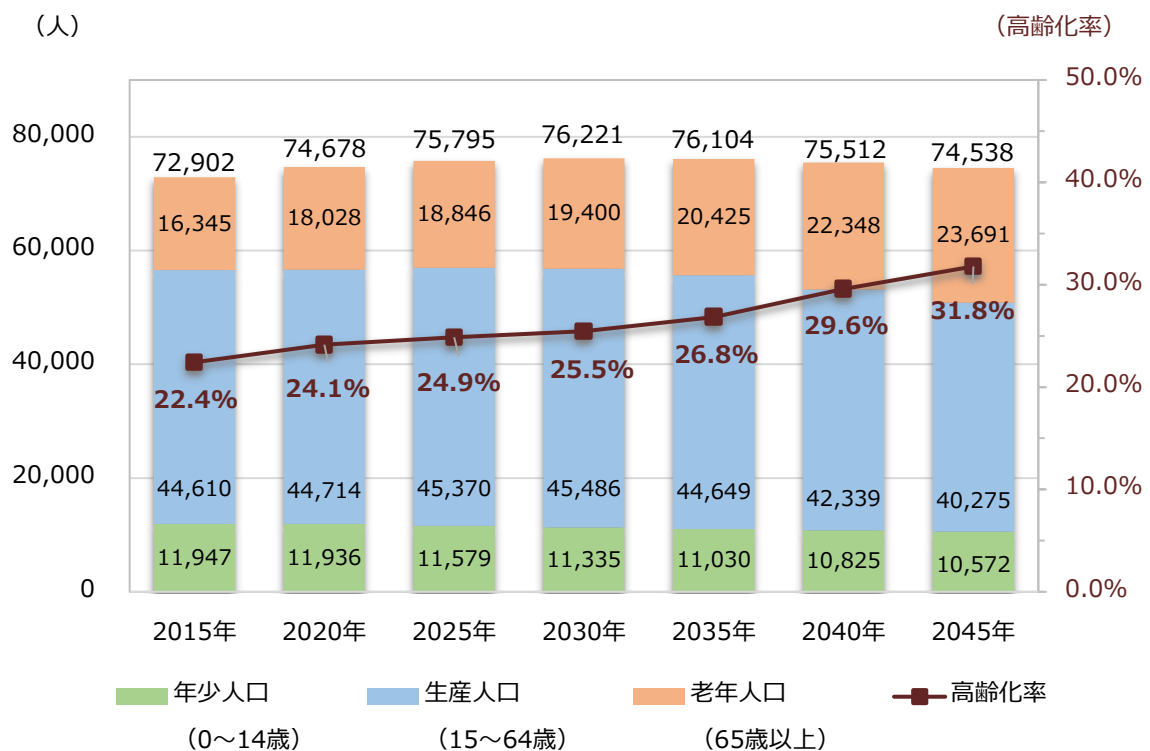


図 将来人口推計と高齢化率の推移

出典：国立社会保障・人口問題研究所 「日本の地域別将来推計人口」